このまちと、いつまでも。いながわ

広報 いながわ

第915号

11月
平成27年

おいもさんいっぱいとれたよ!食べるの楽しみ♡(猪名川保育園 芋ほり)

特集 国指定史跡 多田銀銅山

～多田銀銅山遺跡を国指定に導いた 元文化庁主任調査官と
調査担当学芸員がその魅力とまちの未来を語る～

町議会、新たな体制へ 8

しまった・こまった・たすかった!
いなが♥輪　伏見台老人クラブ「白鷺会」 19

猪名川町の実は…え!?ホンマ!?　給食 24

瞬(ときめき)　山本 博三さん 26

私のオススメ☆　猪名川町で二番 高岳 27

特派員報告 そば打ちに挑戦してみませんか? 28

小春日和に秋桜(木津)

国指定史跡 多田銀銅山

～多田銀銅山遺跡を国指定に導いた 元文化庁主任調査官と 調査担当学芸員が その魅力とまちの未来を語る～

10月7日、「多田銀銅山遺跡」が正式に国指定史跡になりました。この遺跡は、猪名川町、川西市、宝塚市と大阪府池田市、箕面市、能勢町、豊能町の合計7市町にまたがる大規模な鉱山遺跡（図1）です。

今回、その中心地であった「銀山地区」の一部が、重要な歴史遺産として認められ、指定されました。

今号では、多田銀銅山遺跡調査委員会の坂井委員長と調査担当の青木学芸員に国史跡指定までの15年間の町のあゆみや熱い思いなどを聞きました。

《用語解説》
遺跡（いせき）＝建物、工作物など過去の人々の生活の痕跡がまとまって残っているもの　**史跡**（しせき）＝遺跡のうち歴史・学術的に価値の高いもの。国や自治体で指定されたものを指す
間歩（まぶ）**（坑道**（こうどう）**）**＝地面のなかに掘った穴・トンネルのこと

「国指定史跡 多田銀銅山遺跡」を目指して

多田銀銅山遺跡調査委員会とは？

青木　多田銀銅山について、専門的見地で指導や助言をいただく委員会で、現在は考古学専門3人、鉱山地質学専門1人、行政1人の5人で構成されています。

坂井　私たちは、地域の皆さんの今の生活環境と文化財との共存を目指し、この貴重な歴史遺産を後世に残すため、委員をお引き受けしています。今後は史跡の活用も含め、専門分野の幅を広げたり、地域住民の代表にも委員として加入していただくなど、様々な視点で多田銀銅山の今後を考えていければと思っています。

国史跡に指定されるメリットは？

坂井　国指定史跡になるということは、遺跡に関わるものの調査・保存・活用などに国の補助金などが充てられたり、法律により乱開発から守られるなどのメリットがあります。また、「大切にし、後世に伝えたい遺跡」として学んでいただく機会や観光資源としての活用が広がるなど、地域の活性化にも大きな役割を占めることが期待されます。

国史跡を目指した経緯は？

青木　多田銀銅山は、江戸時代の絵図などから、重要な遺跡であることが予想されていました。このため、平成12年から「代官所跡発掘調査」を悠久の館の対岸で始めました。調査成果が出た平成14年当時、文化庁主任調査官だった坂井委員長の現地視察で「多田銀銅山は間歩や遺構が多く残されているので、国指定になるだけの要素を持ち合わせている。まずは銀山地区全体の状況をしっかりと把握すること」とのお言葉をきっかけに、本格的な分布調査を開始しました。

坂井　当時、島根県の石見（いわみ）銀山が、世界遺産を目指して分布調査で大きな成果を上げていたので、それを参考に調査するようアドバイスしました。その後、再び現地に来た平成21年には、しっかりと調査を進めてくれていました。大手前大学の協力も大きく、絵図や現地と照らし合わせた精度の高い調査結果が出ており、感激しました。この時「多田銀銅山は、必ず国史跡になる」と確信しました。

図１　多田銀銅山の範囲

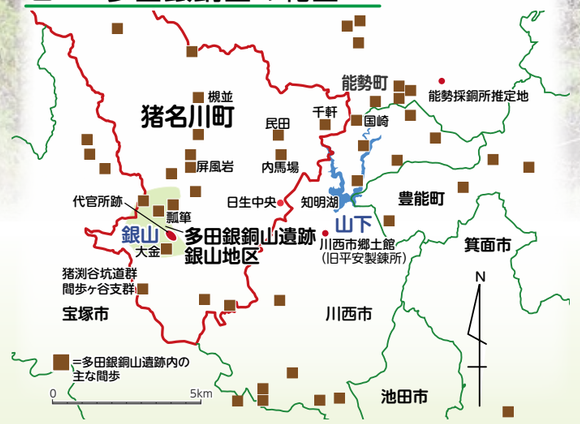


図２　史跡指定の範囲と周辺地図

～～～３枚の絵図から始まった多田銀銅山の調査～～～

銀山地区は、江戸時代の絵図などから重要な遺跡であることが予想されていました。そのきっかけとなったのが下の３枚の絵図（図３～５）です。この３枚と２ページの「史跡指定の範囲と周辺地図（図２）」の道や川を比較すると、同じ谷が描かれていることがわかります。

図３　銀山町行政絵図（銀山町検地付近絵図）

図４　銀山町間歩絵図

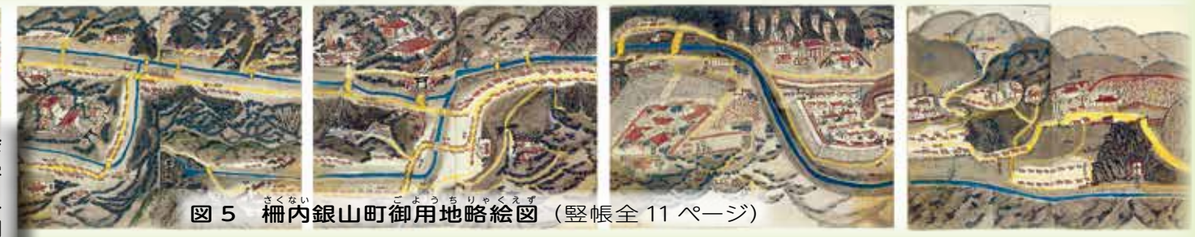


図５　柵内（さくない）銀山町御用地略絵図（ようちりゃくえず）（竪帳全 11 ページ）

町教育委員会教育振興課社会教育室文化財担当 青木（あおき） 美香（みか）学芸員　◆経歴＝平成 20 年に入庁以来 7 年間、主に多田銀銅山の文化財調査に従事

多田銀銅山遺跡調査委員会 委員長 坂井（さかい） 秀弥（ひでや）さん（奈良大学文学部教授）　◆経歴＝関西学院大学、大学院博士前期課程修了→新潟県教育委員会→文化庁記念物課（埋蔵文化財部門）、文化財調査官･主任文化財調査官→平成２１年４月に奈良大学に着任、現在に至る　◆平成 23 年～ 25 年 町多田銀銅山遺跡調査委員会委員　◆平成 26 年～ 町多田銀銅山遺跡調査委員会委員長

堀家製錬所跡のレンガ塔（近代化産業遺産に認定）

当時のまちなみが残る銀山地区（左から甘露寺入口・新町を南から北へ望む・新町を北から南へ望む）

「国指定史跡 多田銀銅山遺跡」の価値

国内で有名な鉱山遺跡の現状は？

坂井　私は全国各地の鉱山遺跡に関わってきました。世界遺産・石見銀山（以下「石見」）のある島根県大田市は、昭和30年代に地域が衰退していく中で、まちの将来を真剣に考えました。文化財を大切にしたまちづくりをしようと決め、本格的な文化財調査を始め、昭和44年に史跡指定され、平成19年には世界遺産に登録されました。また、国史跡・佐渡金銀山（以下「佐渡」）のある新潟県佐渡市は、観光地として栄えていましたが文化財としての保護の取り組みは遅れていました。現在、住民人口や観光客が減少しているため、文化財をまちの活性化に活かそうと、本格的に文化財の調査・研究を始め、世界遺産への登録を目指しています。

兵庫県で「初」の国指定史跡？

青木　兵庫県には生野銀山（以下「生野」）がありますが、鉱山としては国史跡に指定されていません。このため、多田銀銅山は、県内で初めて鉱山として国史跡に指定されたことになります。また、全国でも8番目となり、国内でも名高い鉱山と肩を並べる遺跡だと認められたことになります。

銀山地区の印象は？

坂井　この谷（銀山地区）には、道に沿って集落が残っており、戦国時代から400年以上の時を脈々と地域の人々が守り伝えてきた歴史がしっかりと感じられます。一方で、銀山地区を一歩出ると住宅開発が進んでおり、この谷に入ることで、スッと現代から歴史の世界に入れるという魅力を感じます。私は、文化財とは過去の歴史と今の人が、どのようにつながってきて、どんな関係があるのかを知るものであり、だからこそ大切だと思っています。

「多田」という名前の由来は？

青木　平安時代に源満仲が「多田荘」を開き、猪名川町を含む一帯を治めていました。町域ではその時代に採掘が始まったと言われていましたが、裏付けがありませんでした。しかし、新名神高速道路工事に伴う広根遺跡の調査で、屋敷跡が見つかりました。その付近には満仲ゆかりの多田院（現在の多田神社（川西市））に仕えた御家人に因んだ地名も残っています。また、豊臣秀吉の財産目録にも「多田荘銀山」と書かれており、秀吉が鉱山を開発する前には、多田院御家人の管理のもとで採掘が行われていたとみられ、「多田」という名称が残されたと考えられます。

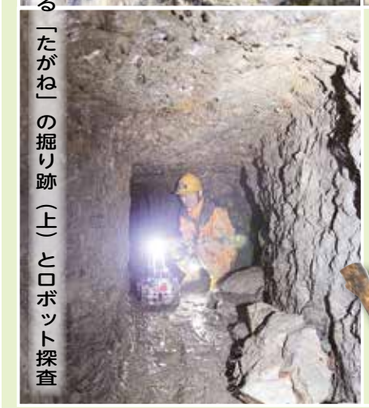
多田銀銅山の特徴は？

青木　多田銀銅山の大きな特徴は、ほかの鉱山より早く「南蛮吹き」という銀・銅を吹き分ける技術を取り入れたことです。これは、ドイツで発明された技術で、鉄砲などと共に堺（大阪府）に伝えられました。この技術は多田銀銅山に取り入れられ、後に多田銀銅山から生野に伝えられました。

坂井　佐渡や石見は、鉱山の規模は大きいけれど、江戸や大坂からは遠い場所にありました。それに反して多田銀銅山は、大坂に近く、最新の技術が取り入れられていたことなどからも、秀吉が関わっていた事実が確認されています。このことからも、多田銀銅山は国の政治・経済に直結して経営されていたことがわかります。

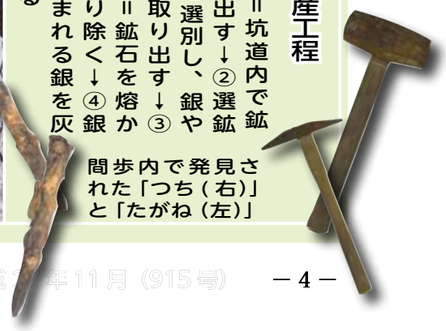
間歩内に、はっきりと残る

「吹屋之図」の「つち」と「たがね」を使った間歩内での採掘の様子


「たがね」の掘り跡（上）とロボット探査

多田銀銅山の生産工程

①採鉱（掘る）＝坑道内で鉱石を掘り坑外へ出す→②選鉱（選る）＝鉱石を選別し、銀や銅を含む部分を取り出す→③製錬（熔かす）＝鉱石を熔かして不純物を取り除く→④銀の抽出＝鉛に含まれる銀を灰吹により抽出する


間歩内で発見された「つち（右）」と「たがね（左）」

秀吉の「埋蔵金伝説」とは？

坂井　「埋蔵金伝説」は、あくまでも言い伝えですが、銀山地区にこの伝説が残っているのは、実際にこの地に秀吉が関係していたからです。秀吉は、一般に広く知られていて、石見・佐渡にはない話だからこそ伝説としては非常に面白いし、これは多田銀銅山の歴史的価値だと思っています。

青木　明治時代には、著名だった「秀吉」の名や、「太閤」の文字を宣伝材料に使うなどして、鉱山経営を行う資本家を呼び込むための工夫をしていたみたいです。こうして描かれた絵図や夢物語がいつの間にか一つになり「埋蔵金伝説」として伝えられたようです。

近代化遺産の重要性は？

坂井　近年では、明治以降の近代の遺跡の価値も高くなってきています。私が初めて多田銀銅山に視察で来た時には、レンガ塔に象徴される堀家製錬所跡がすでに近代の重要遺跡のリストに入っていました。鉱山の歴史は、中世から近代のこのレンガ塔を経て今の私たちにつながっています。近代のものも遺跡を構成するための大切な要素と考えているんです。

特に新しい調査成果は？

坂井　九州大学総合研究博物館所蔵の「吹屋之図（以下「吹屋」）」と地元住民が所蔵する「摂州多田銀銅山鉛石吹立次第荒増（以下「摂州」）」（いずれも図6）の2冊の古文書の出元が多田銀銅山であったことが確認できた成果は大きいですね。その内容から様々なことが確認され調査が進展したと感じています。

◀「吹屋之図」の排水の様子

青木　「摂州」と「吹屋」に描かれている絵が似ていることは、前々から感じていましたが、それに着目した調査は、できていませんでした。そんな中、新名神高速道路建設工事に伴う遺跡の発掘調査現場で、間歩の入り口に木枠の遺構が発見され、同時期には、銀山地区内の調査でも木枠を発見しました。それらは「吹屋」の「選鉱」場面に描かれた木枠（いずれも図7）とそっくりだったんです。「これは?!」と思い、「吹屋」の本文を読み下しました。そして、絵が似ていた「摂州」も読み下し比較すると、絵だけでなく書かれている内容までそっくりで、どちらも「多田銀銅山の製錬方法」が書かれた古文書だと分かりました。また、この発見をもとにその他の資料や発掘調査結果、地元の人や委員の先生のお話などをつなげて、少しずつわかってきたこともあります。「吹屋」と「摂州」を追究すれば、まだまだ新しい発見があると思います。

《製錬に使われたと考えられる木枠が各所に》

図6《多田銀銅山が出元の2冊の古文書》

▲「摂州多田銀銅山鉛石吹立次第荒増」の製錬の様子

▲「吹屋之図」の製錬の様子

図7

▲「吹屋之図」の木枠で選鉱する様子

▲銀山地区内の間歩前の木枠の遺構

▲新名神高速道路工事現場から発掘された木枠の遺構

「国指定史跡 多田銀銅山遺跡」のこれから

観光資源としての活用は？

坂井　他の地域からこの地に来てもらい、多くの方々に遺跡の価値を知ってもらうことができる「観光」としての活用は、とても大切です。また、地域の方々との交流も期待されます。しかし、多くの人が訪れることで、遺跡がいたむ可能性は高くなるので、ただ観光客を呼び込めばいいというわけではありません。また、住民生活への影響も心配されますから、まずは遺跡を守ることを考えながら、地域住民と連携し、環境整備や観光振興を進めることが大切です。

これからの調査は？

青木　銀山・肝川の調査では、間歩内の木や雁木（がんぎ）ばしごが残されていて、鉱脈を追って掘り進む鏑追（ほりつい）掘の跡など、当時の坑道内の様子が残っている間歩も確認されていますから、絵図などと比較することで更に検証は進むと思います。また、これまで役所関連遺跡・生産遺跡を重点的に調査してきましたが、生活遺跡や銀山とその周辺地域との関係などは、手付かずの状態です。また、江戸時代には町内全体が、銀・銅・鉛の生産を主要産業であったことも最近の調査でわかっており、銀山地区同様に先人が築きあげてきた価値ある遺跡です。しかし、遺跡として認識されずに無くなってしまうところもありますから、そうなる前に調査し、大切に守り伝えていく必要があると考えています。今後はそちらにも目を向けていきたいです。

坂井　猪名川町として約15年間調査を進めてきた成果は、確実に現れています。ただし、実際には7市町にまたがる規模の大きい遺跡で、多面的な調査が必要となりますから、全体を把握し調査するには、数十年という年月がかかることが予想されます。とても大変な事業ですが、町にとってこれだけ価値のある国レベルでの遺跡というのは、今後まずないと思います。しっかりと調査し、その成果を活かしていただきたいです。

この遺跡を後世に伝えるためには？

青木　明治時代、生野が栄える一方、多田銀銅山は衰退してきていました。先祖たちが「途絶えさせてはならない！」との強い思いで、必死に頑張ってきたことが、文書などからわかります。現在、銀山地区の方々は、将来への不安から、地域活性化の必要性を感じておられます。銀山地区の人だけでなく、このまちに住む皆さんが、この遺跡の重要性を意識し、この地を皆で守り伝えていこうと思っていただけるよう調査を進めていきます。

まちの皆さんに、重要性を認識して欲しい

猪名川町に期待することは？

坂井　この遺跡は、都市近郊でありながら、歴史と自然がそのまま残されているという利点があり、町の将来を左右する力を持ったすばらしい「宝」です。この宝は、町内だけでなく阪神地域をはじめとした近畿地区全体の展開にも活かせる貴重なものです。この指定をきっかけに、まちの皆さんが「この遺跡を後世に伝えていかなければならない」ということに気付いてもらえればと思います。私も様々な分野の委員とともに、そのお手伝いができることは非常に楽しみです。猪名川町の文化財を活用した活性化への取り組みを大いに期待しています。

坂井先生などのお話が聞ける

国史跡指定記念シンポジウム
「多田銀銅山～遺跡の価値を活かしたまちづくり・ひとづくり～」

▽**とき**　11月15日（日）午前10時～午後3時30分
▽**ところ**　文化体育館小ホール
▽**内容**　◆**基調講演**「多田銀銅山遺跡の調査と活用」坂井秀弥（ひでや）さん（奈良大学教授）
◆**講演**　①「多田銀銅山の鉱山学的な価値」井澤 英二さん（九州大学名誉教授・多田銀銅山遺跡調査委員）写真上
②「江戸時代の多田銀銅山」今井 典子さん（元住友史料館副館長）③「多田銀銅山を活かしたまちづくりとひとづくり」村上 裕道（ひろみち）さん（県教育委員会参事）写真上 ④「事例報告 石見銀山」大國 晴雄さん（大田市教育長）

◆**パネルディスカッション**
▽**参加費**　無料
▽**定員**　200人
▽**申込・問合せ**　往復はがき（1人1枚）に参加者の氏名・住所・電話番号・「シンポジウム」と明記し社会教育室（〒666・0292 住所不要）宛てに郵送

これからのまちづくり

福田（ふくだ） 長治（ちょうじ）町長

町制施行60周年の記念すべき年に「国指定史跡 多田銀銅山」が誕生したことは、とても喜ばしく、これまでの取り組みの中でご指導・ご協力をいただきました関係者の皆様に深く感謝しています。

新名神高速道路の開通が迫り「交通アクセス」「文化財」「多くの自然」の3つの要素が間もなく揃う今「文化財を活かしたまちづくり」に力を入れる時が来ました。

坂井先生の言葉にもありますが、「多田銀銅山」が日本で名高い石見銀山や佐渡金銀山に次ぐところまでに認められたことは、本町の魅力を多くの皆様に広く知っていただき、訪れていただくチャンスだと考えています。

しかし、これにより町全体で考えなければならない課題もどんどん見えてきています。

今後、町をあげて文化財を守りながら地区内の整備を進めることで、まちの皆さんの生活がより良いものとなるよう、まちづくりを進めていきます。

生まれ育ったこの地を守っていきたい

銀山自治会長
橋本（はしもと） 光彦（みつひこ）さん

子どものころは、念力山の採石の山を滑ったり、間歩の中に入って遊んでいました。私たちにとって近所の遊び場だった場所が「国史跡」と言われてもピンと来ないのが、今の正直な気持ちです。

私が小学生だった昭和40年前後の銀山地区内では、日本鉱業が操業していました。鉱夫やその家族が住む飯場（はんば）（社宅のようなもの）があり、子どもも多く、銀山地区は賑やかでした。

しかし、現在の銀山地区は、12世帯。高齢化が進み、10年後はどうなっているんだろうと考えることがあります。そんな中での「国指定史跡」。多くの人々に目を向けられる可能性のある地となった今、これからの銀山地区をどうすべきかを真剣に考える時だと感じています。

銀山地区での勉強会

私は、2年前の定年退職を機に、文化財調査を手伝っています。学芸員や専門の先生が間歩などを調査するのに同行し、実際の採掘跡などを目の当たりにしています。何がどうすごいのかを教えてもらい、少しずつその価値を実感しながら「だからこそ守らなければならない」と、感じています。

高齢者の多い私たちの地区では、急激な生活変化には耐えられないかもしれませんが、銀山の価値をきちんと理解したうえでしっかりと計画を立て、少しずつでも環境の変化に対応しながら、この地を守っていきたいと思います。

多くの方が来られた時に遺跡が守られた状態で案内でき、満足して帰っていただけるような環境整備が最優先課題だと思っています。銀山ならではの景観を見ていただき、空き家を活用するなどしてのんびりできる和風のカフェなどもあれば喜んでもらえるのでは…など、考えると夢は膨らみます。

私たちにとっては昔から当たり前にあったものですが、自分たちの今の生活を守りながら、その歴史をつなげていけるよう、皆で考え少しずつ良い形になればと思います。

調査現場での橋本さん

多田銀銅山をもっと知ろう！

◆**企画展「銀山攻略　第二巻 役所関連遺跡の調査」**
▽**とき**　平成28年3月27日（日）まで
▽**ところ**　悠久の館
▽**内容**　調査成果のパネル展示

◆**特別展示「多田銀銅山の調査最前線」**
▽**とき**　11月6日（金）～12月15日（火）
▽**ところ**　中央公民館
▽**内容**　最新技術を用いた遺跡調査方法を紹介

◆**講演会「多田銀銅山遺跡調査成果報告会」**
▽**とき**　12月12日（土）午後1時30分～4時
▽**ところ**　中央公民館

◆**遺跡をめぐるウォークラリー**
▽**とき**　11月27日（金）
▽**ルート**　銀山地区の主要遺跡の見学（距離　約5.1km　所要時間　約2時間）

◆**多田銀銅山の鉱石を調べよう**
▽**とき**　平成28年1月9日（土）午前10時～正午
▽**ところ**　悠久の館
※詳細は、随時広報いながわなどに掲載、または町ホームページをご確認ください
▽**問合せ**　社会教育室（☎767・2600）

町議会、新たな体制へ

▶問合せ　町選挙管理委員会事務局（総務課内☎ 766 － 8708）

住民の代表16人選ばれる

町議会議員選挙の投票が9月27日に行われ、16人の新しい町議会議員が決まりました。28日には根本善弘町選挙管理委員会委員長から、当選者に当選証書が付与されました。

これから4年間、住民の代表として、皆さんの声を町政に反映させる活躍が期待されます。

中島 孝雄（なかじま たかお）
若葉 65 歳
無所属 元 当 6

阪本 ひろ子（さかもと）
若葉 54 歳
公明党 新 当 1

南 初男（みなみ はつお）
槻並 73 歳
公明党 現 当 8

宮東 豊一（みやひがし とよかず）
広根 51 歳
無所属 現 当 3

山田 京子（やまだ きょうこ）
松尾台 41 歳
無所属 現 当 2

丸山 純（まるやま じゅん）
白金 66 歳
民主党 現 当 3

池上 哲男（いけがみ てつお）
松尾台 62 歳
日本共産党 現 当 6

西谷 八郎治（にしたに はちろうじ）
西畑 64 歳
無所属 現 当 4

肥爪 勝幸（ひづめ かつゆき）
木津 64 歳
無所属 現 当 2

久保 宗一（くぼ むねかず）
松尾台 54 歳
無所属 現 当 3

下坊 辰雄（したぼう たつお）
上野 63 歳
日本共産党 現 当 8

岡本 信司（おかもと のぶじ）
松尾台 60 歳
無所属 新 当 1

福井 澄榮（ふくい すみえ）
伏見台 75 歳
無所属 現 当 6

石井 洋二（いしい ようじ）
若葉 60 歳
無所属 現 当 3

下神 實千代（しもがみ みちよ）
猪渕 63 歳
無所属 現 当 2

加藤 郁子（かとう いくこ）
白金 53 歳
無所属 現 当 2

（敬称略。略歴は、氏名・現住所・年齢・党派・新現元別・当選回数）

町議会議員選挙は、9月22日に告示され、定数16人に対して19人が立候補し、活発な選挙運動が展開され、投票は同27日に町内14カ所の投票所で一斉に行われました。

開票は午後9時から町社会福祉会館で行われ、午後10時50分頃までにすべての当選者が決まりました。内訳は現職13人、元職1人、新人2人です。

投票当日の有権者数は、2万4981人（男性1万1788人、女性1万3193人）で、投票者総数は1万3469人でした（有効投票 1万3351人、無効投票118人）。

投票率は、53・92％で、前回（平成23年53・14％）を0・78ポイント上回りました。男女別では、男性が52・54％、女性が55・15％でした。

開票結果（敬称略）

当	1,232	中島 孝雄	当	606	下坊 辰雄
当	1,095	阪本 ひろ子	当	588	岡本 信司
当	1,083	南 初男	当	571	福井 澄榮
当	991	宮東 豊一	当	554	石井 洋二
当	819	山田 京子	当	547	下神 實千代
当	807	丸山 純	当	525	加藤 郁子
当	793	池上 哲男		471	末松 早苗
当	698	西谷 八郎治		381	安井 和広
当	649	肥爪 勝幸		298	上林 辰巳
当	643	久保 宗一	◆投票総数	13,469	

役職など決定

改選後初の議会となる第379回臨時会が10月6日に開催され、議長・副議長・監査委員や各常任委員会委員長などが選任されました。

議長　久保 宗一さん
副議長　石井 洋二さん
監査委員　肥爪 勝幸さん

▽**問合せ**　議会事務局（☎766・8710）

町議会各委員会（敬称略）

総務文教常任委員会	◎宮東 豊一 ○加藤 郁子、池上 哲男、久保 宗一 阪本 ひろ子、肥爪 勝幸、福井 澄榮、山田 京子
生活建設常任委員会	◎下坊 辰雄 ○下神 實千代、石井 洋二、岡本 信司 中島 孝雄、西谷 八郎治、丸山 純、南 初男
議会運営委員会	◎南 初男 ○丸山 純、池上 哲男、石井 洋二 下神 實千代、西谷 八郎治
議会広報特別委員会	◎下神 實千代 ○加藤 郁子、阪本 ひろ子 下坊 辰雄、西谷 八郎治、丸山 純
新名神高速道路対策特別委員会	◎丸山 純 ○山田 京子、石井 洋二、岡本 信司 下坊 辰雄、中島 孝雄、肥爪 勝幸、南 初男

◎＝委員長、○＝副委員長

～マイナンバー制度 Q&A～

※内閣官房HP「よくある質問（FAQ）」より一部引用

国民一人ひとりに個人番号が割り当てられるマイナンバー（社会保障・税番号）制度の施行に伴い、個人番号が記された通知カードが発送されます。町では11月下旬頃より順次お届けする予定です。そこで今回は、マイナンバーの疑問に、わかりやすくお答えします。

◇　◇　◇

Q．マイナンバーって何？

A．住民登録のある人全員に、異なる12桁の番号が割り当てられます。来年1月から、国の行政機関や地方公共団体は、社会保障・税・災害関連の個人情報をマイナンバーと結び付けることで、行政手続きを効率化し、より正確な情報を管理できるようになります。さらに、複数の機関で情報を共有できるので、より早い手続きが可能になります。

Q．どんな場面で使うの？

A．住民税や所得税などの申告手続き、雇用保険や児童手当など社会保障の手続き、年金や健康保険の受給手続きの際などにマイナンバーの提示が求められます。勤務先や金融機関が個人に代わって所得の申告や社会保険の手続きをする場合には、勤務先や金融機関にマイナンバーを伝える必要があります。

Q．個人にメリットはあるの？

A．社会保障や納税に必要な添付書類が少なくなるほか、窓口に行く回数が減るなど、行政手続きが簡単になります。また、自宅のパソコンから自分の情報がいつ、どこで使われたかの履歴や、年金情報などを確認できる「マイナポータル」が開設される予定です。希望者には申請により、来年1月から個人番号カードが交付されます。

Q．個人番号カードは何に使えるの？

A．カード表面には氏名・住所・生年月日・性別と本人の顔写真が表示され、裏面にマイナンバーが記載されます。本人確認のための身分証明書として利用したり、カード内蔵のICチップや電子証明書を活用することで、e-Taxの利用やコンビニエンスストアで各種証明書の発行などもできます。

Q．レンタルショップの会員登録などの身分証明として、個人番号カードを提示してもいい？

A．身分証明書として利用することは可能です。ただし、民間事業の会員登録など個人番号の利用範囲外の業務については個人番号収集が認められておらず、番号が記されたカード裏面のコピーなどは法律違反になるので注意してください。

Q．子どもでも個人番号カードは申請できる？

A．15歳未満および成年被後見人は、法定代理人によって申請する必要があります。特別な理由がある場合は、市区町村長が認める任意代理人によって申請が可能です。

Q．個人番号カードを紛失したら？

A．①まず、カードコールセンター（☎0570・783・578）に電話してください。②警察から発行された紛失届の受理番号を提示すれば再発行できます。紛失時に情報漏えいの恐れがある場合は番号を変更できます。

マイナンバー制度はこんな場面で…

マイナちゃん

税
住民税や所得税などの手続き

社会保障
雇用保険、生活保護、児童手当などの手続き

災害
支援金の手続き、被災者台帳の作成など

※個人番号カードが必要です

コンビニ交付
住民票、印鑑登録証明書の交付など

マイナポータル
自らの情報が提供された履歴や年金情報確認など

マイナンバー詐欺にご用心！

電話で行政機関の職員を名乗り、マイナンバー制度を悪用し、口座番号や個人の資産を聞き出そうとしたり、「早く手続きをしないと刑事事件になる」などと脅迫する事案が発生しています。

行政機関が電話で個人番号を通知したり、金銭を要求することはありません。

マイナンバー制度に便乗した不正な勧誘や個人情報の取得には十分に注意してください。

◆問合せ　内閣府コールセンター（☎ 0570 － 20 － 0178）
午前 9 時 30 分～午後 10 時（土・日・祝日は午後 5 時 30 分まで）